

< アイヌ文化保全対策調査 >

2011(平成23)年度
調査基本計画

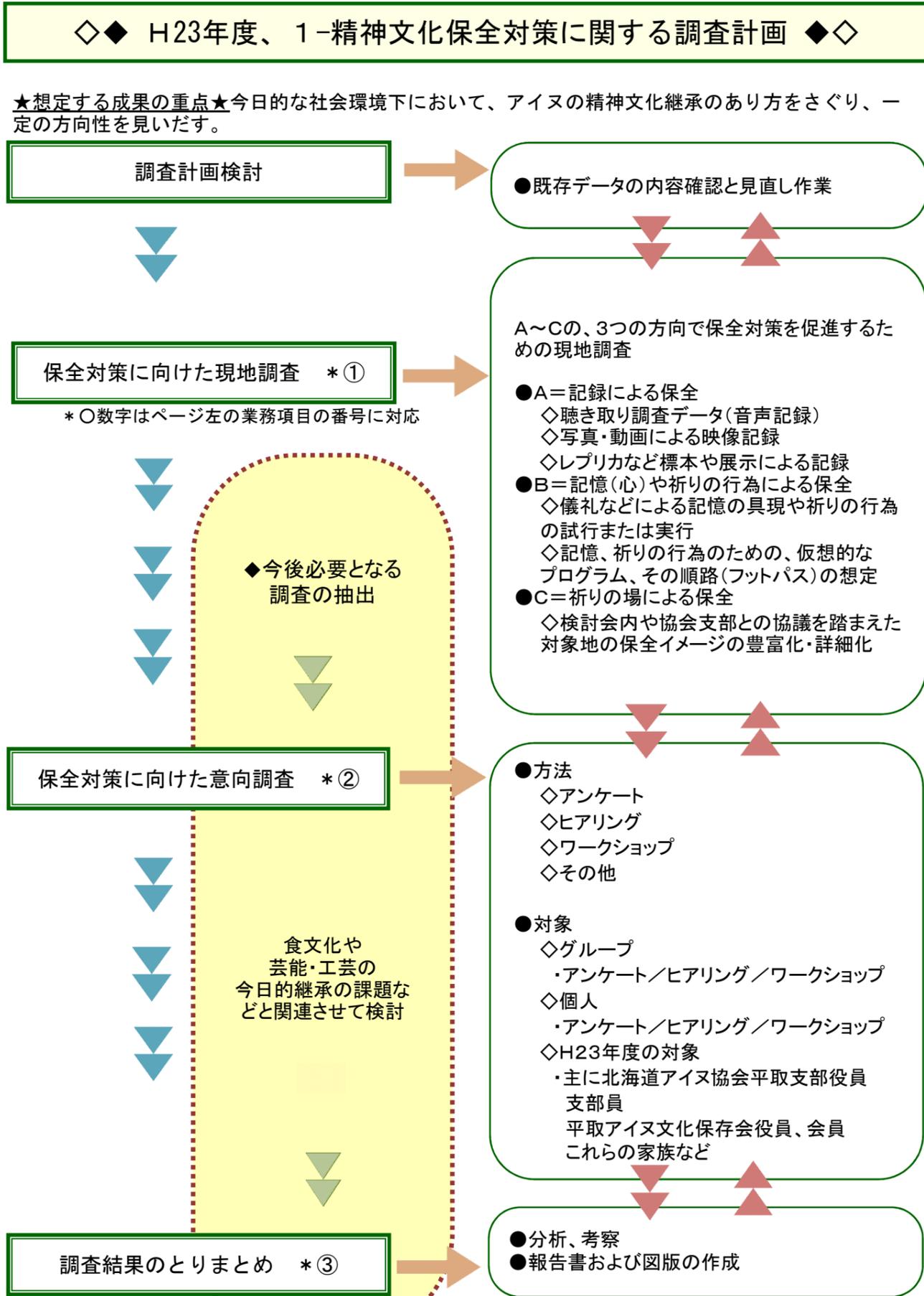
= 2011-07-06 検討会説明資料 =

北海道 平取町

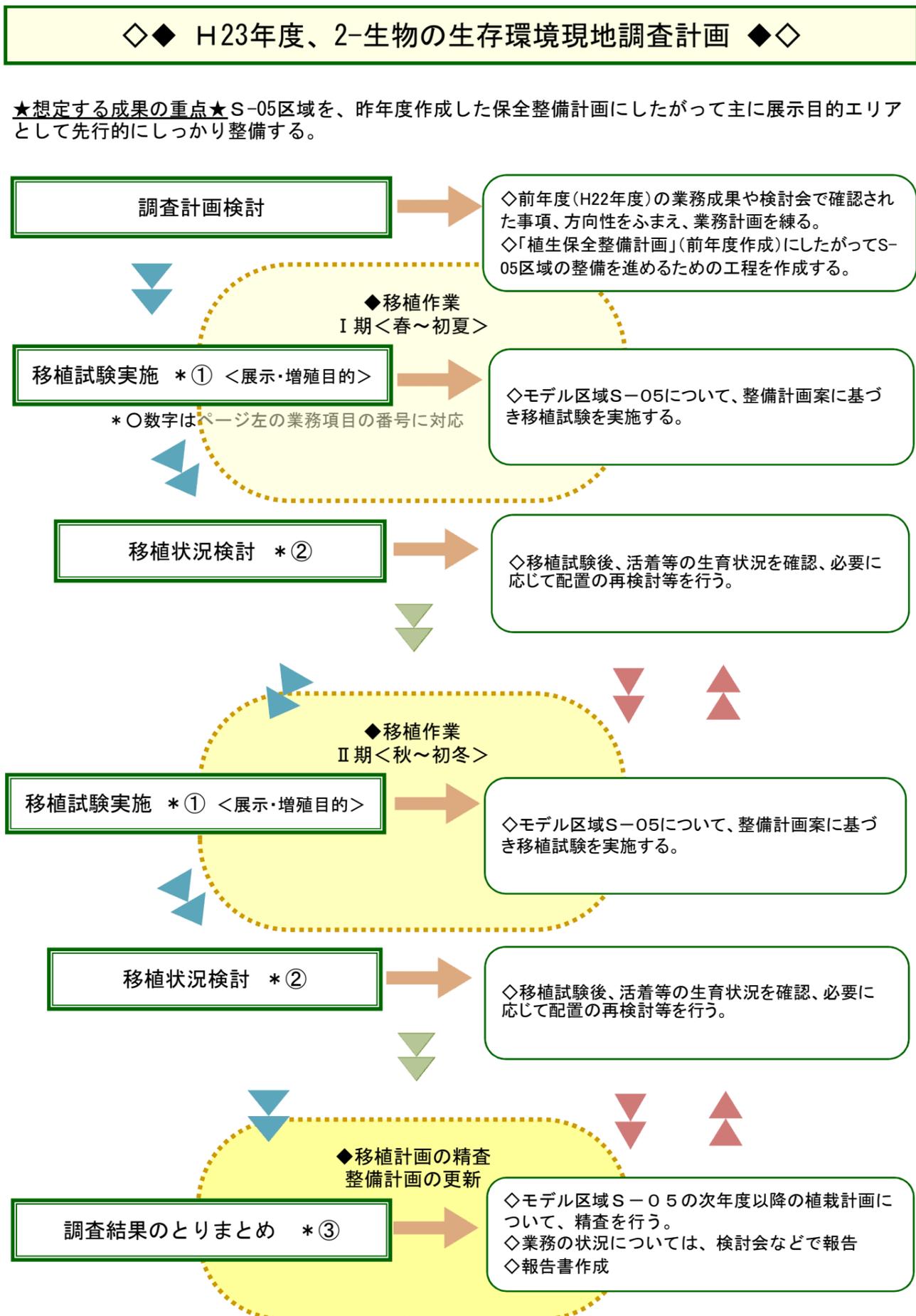
アイヌ施策推進課

アイヌ文化環境保全調査室

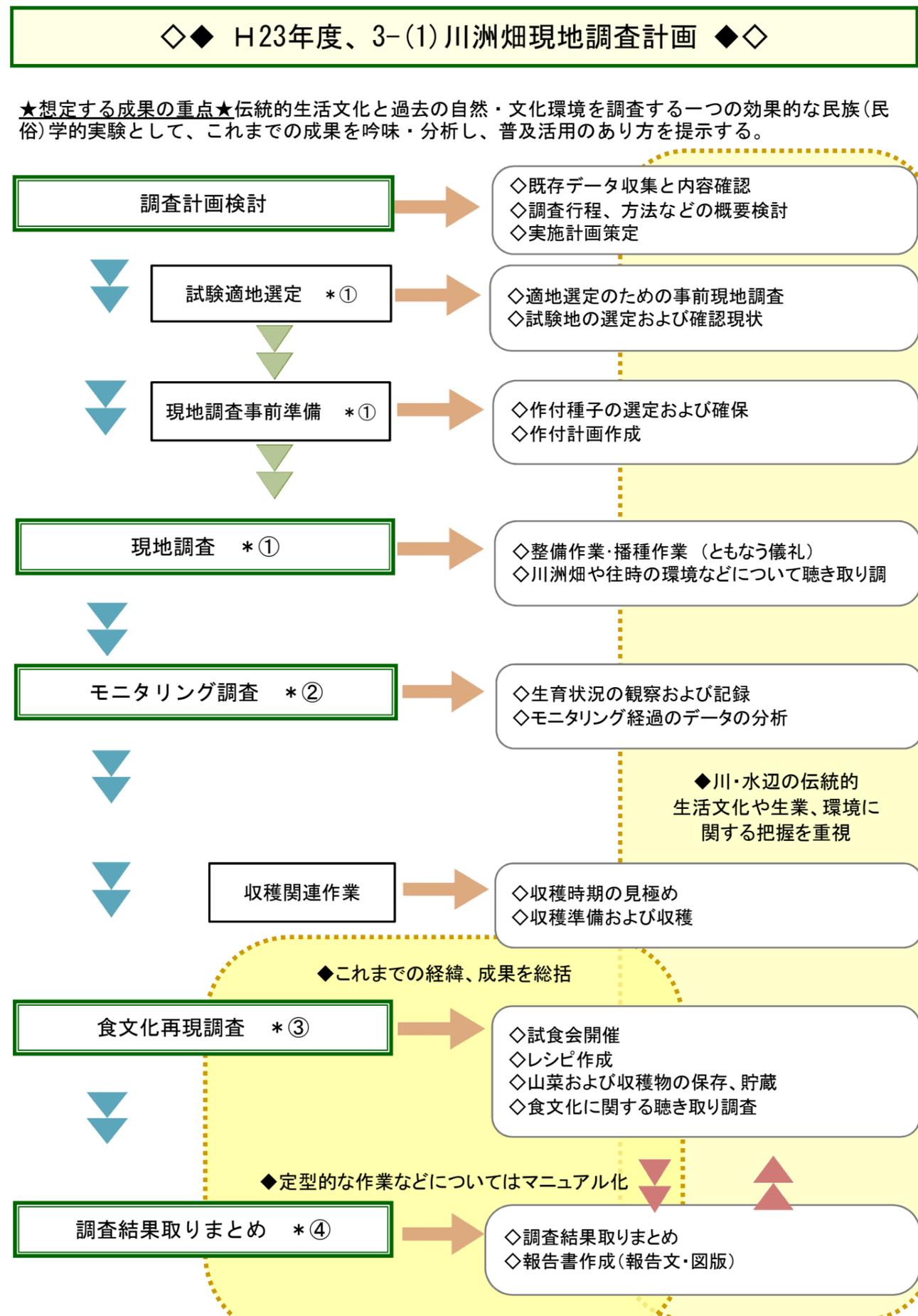
事業名	平成23年度 アイヌ文化保全対策調査												
業務分野	1 - 精神文化保全対策に関する調査												
目的/課題 ※1	◆精神文化の保全対策に必要な現地調査を実施する。また、調査内容について、地域の関係者の意向を確認し、整理する。												
業務項目と内容・方法 ※2	①【現地調査】 各保全対策の検討のために必要な精神文化に係る現地調査を実施する。 ②【意向調査】 各保全対策について調査方針及び結果について、地域の関係者の意向を確認する。 ③【調査結果とりまとめ】 精神文化保全対策の観点から、これまでの調査結果を整理し、今後必要となる調査を抽出する。												
想定する成果 (状況/物品)	※○内の数字は上の欄に対応 ①→ a: 対象地のより詳細な現況図・写真 b: 保全対策の提案書、設計概念を提示する図書・工程表・関連データ ②→ ヒアリング(個別・グループ)実施と結果集約・分析 ③→ 報告文・図版 ★今日的な社会環境下において、アイヌの精神文化継承のあり方をさぐり、一定の方向性を見いだす。												
年間作業工程 (行程)概要	業務項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	◆調査計画検討	●	→										
	①【現地調査】	●	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
	②【意向調査】	●	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
	③【調査結果とりまとめ】			●	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	検討会または勉強会			○		○		○		○		○	
	今後必要となる調査の抽出	●	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
作業工程 (行程)上の 留意事項	各担当チームごとにより詳細な作業計画・工程を作成し、進捗状況に応じて随時見直しを行いながら業務課題を遂行する。また、他分野担当チームとの連携・協力を努める。												
主/副担当	◎村木直美		○貝澤輝三										
補佐・グループ	◇長野 環 チーム1/3-(2)												
備考 (今後の展開上の 留意点等)	アイヌ文化情報センターを基盤とした情報の受・発信と、各種の文化振興事業・活動及び町立博物館・歴史館等関係機関との連携・協力を努める。												



事業名	平成23年度 アイヌ文化保全対策調査												
業務分野	2 - 生物の生存環境現地調査												
目的/課題 ※1	◆優先度の高い植生モデル区域S-05の整備計画案に基づき移植等を実施し、活着等の生育状況を確認するとともに、必要に応じて配置の再検討を行う。												
業務項目と内容・方法 ※2	①【移植試験実施】 植生保全区域35区域について、モデル区域S-05の整備計画案に基づき移植を実施する。 ②【移植状況検討】 モデル区域S-05の整備後、活着等の生育状況を確認、必要に応じて配置の再検討等を行う。 ③【調査結果とりまとめ】 調査結果をとりまとめる。 モデル区域S-05の次年度以降の植栽計画について、精査を行う。												
想定する成果 (状況/物品)	※○内の数字は上の欄に対応 ①→ H22年度に作成した整備計画において中心となるS-05区域で予定している植物種の移植 ②→ 業務分野5との連携でモニタリングを実施し生育状況を管理 ③→ とりまとめの報告文・図版（整備計画の改訂） ★S-05区域を、昨年度作成した保全整備計画にしたがって主に展示目的エリアとして先行的にしっかり整備する。												
年間作業工程 (行程) 概要	業務項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	◆調査計画検討	●→											
	①【移植試験実施】	●→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
	①【移植状況検討】	●→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
	③【調査結果とりまとめ】			●→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	検討会または勉強会			○		○		○		○		○	
作業工程 (行程)上の 留意事項	各担当チームごとにより詳細な作業計画・工程を作成し、進捗状況に応じて随時見直しを行いながら業務課題を遂行する。 また、他分野担当チームとの連携・協力を努める。												
主/副担当	◎黒川賢司		○貝澤朱美										
補佐・グループ	◇川島五月 チーム2/5												
備考 (今後の展開上の 留意点等)	アイヌ文化情報センターを基盤とした情報の受・発信と、各種の文化振興事業・活動及び町立博物館・歴史館等関係機関との連携・協力を努める。												



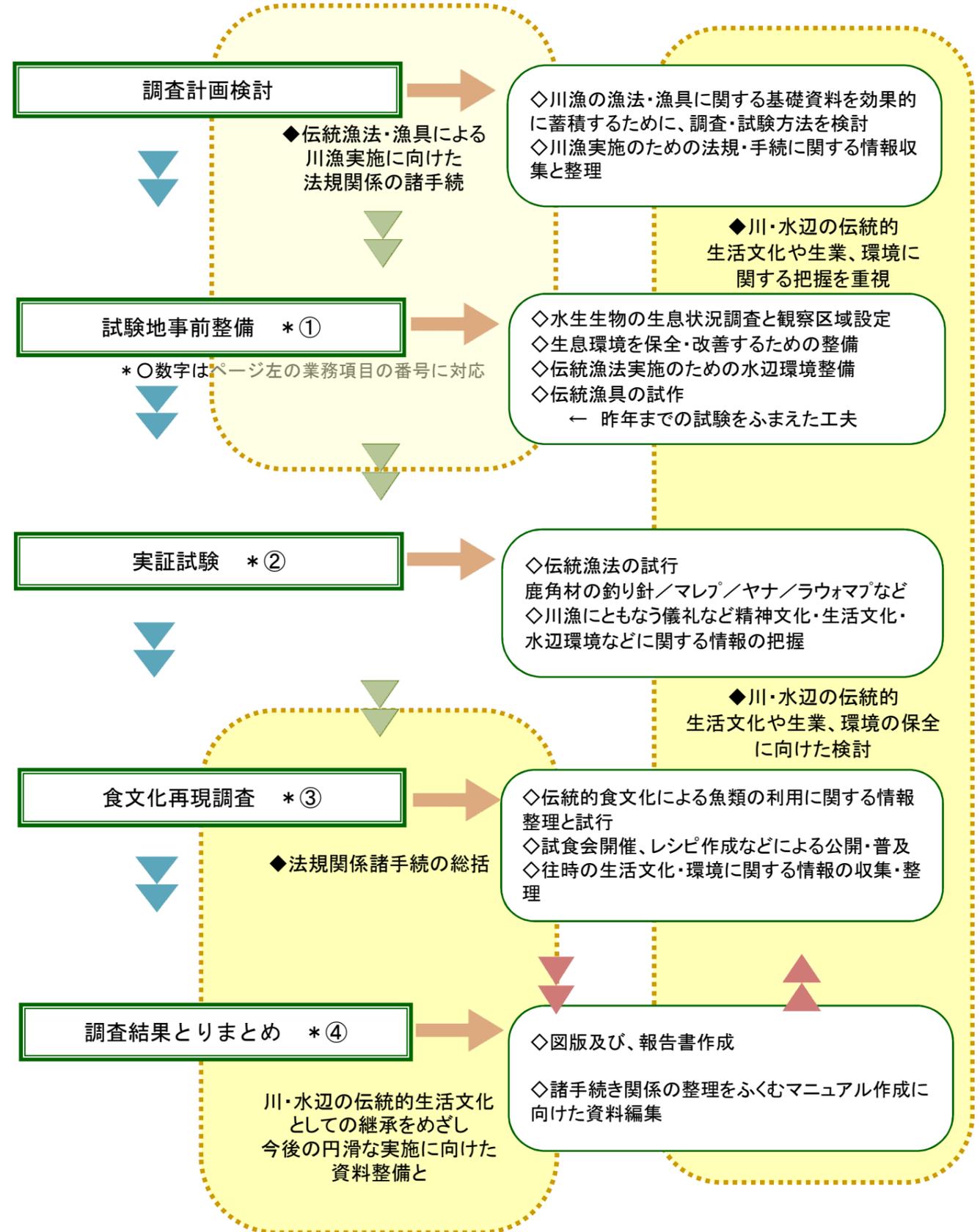
事業名	平成23年度 アイヌ文化保全対策調査												
業務分野	3 - 生活文化現地調査 (1) 川洲畑現地調査												
目的/課題 ※1	◆アイヌ文化期にかつて行われていた栽培方式(川洲畑)について、栽培様式を伝承する際の基礎資料とするため、試験適地を選定し栽培試験を行う。試験結果に基づき生育状況を把握し、データを蓄積するとともに、収穫物を利用したアイヌ文化期の食事等、当時の生活様式の再現を行う。また、既存の調査結果を基に、川洲畑栽培マニュアル(案)とりまとめる。												
業務項目と内容・方法 ※2	①【現地調査】 現地調査選定箇所の事前準備及び栽培試験を行う。 ②【モニタリング】 川洲畑現地調査状況把握のためのモニタリングを行う。 ③【食文化再現調査】 調査結果を基に、実際にアイヌ文化期の食事についての再現(調理)を行う。 ④【調査結果とりまとめ】 調査結果をとりまとめる。これまでの調査結果を基に川洲畑調査マニュアル(案)を作成する。												
想定する成果 (状況/物品)	※○内の数字は上の欄に対応 ①→ 調査を踏まえた実施詳細計画・工程表、プロセスの記録 ②→ モニタリング経過のデータと分析 ③→ 報告文・図版、マニュアル(案)作成 ④→ 食文化の再現(試食会開催、レシピ作成・公開) ★伝統的生活文化と過去の自然・文化環境を調査する一つの効果的な民族(民俗)学的実験として、これまでの成果を吟味・分析し、普及活用のあり方を提示する。												
年間作業工程 (行程)概要	業務項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	◆調査計画検討	●→											
	①【現地調査】	●→	→	→	→	→	→	→	→	→			
	②【モニタリング調査】	●→	→	→	→	→	→	→	→	→			
	③【食文化再現踏査】	●→	→	→	→	→	→	→	→	→			
	④【調査結果取りまとめ】			●→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	検討会または勉強会			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
作業工程 (行程)上の 留意事項	各担当チームごとにより詳細な作業計画・工程を作成し、進捗状況に応じて随時見直しを行いながら業務課題を遂行する。また、他分野担当チームとの連携・協力を努める。												
主/副担当	◎井澤美恵子 ○平村祐樹												
補佐・グループ	◇木村真奈美 チーム3-(1)/4												
備考 (今後の展開上の 留意点等)	アイヌ文化情報センターを基盤とした情報の受・発信と、各種の文化振興事業・活動及び町立博物館・歴史館等関係機関との連携・協力を努める。												



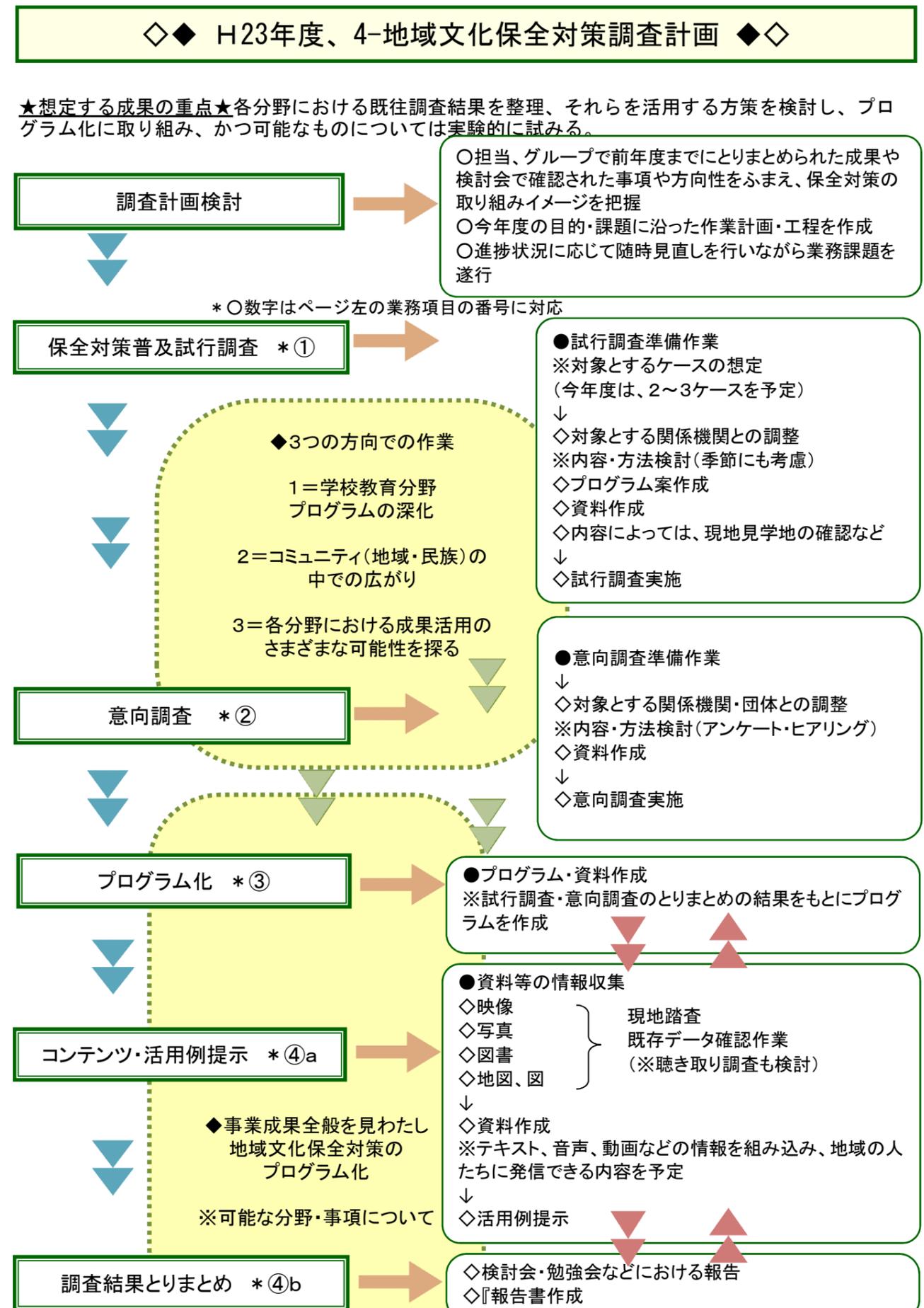
事業名	平成23年度 アイヌ文化保全対策調査													
業務分野	3 - 生活文化現地調査 (2) 伝統的漁法についての調査													
目的/課題 ※1	◆アイヌ文化期にかつて行われていた伝統的漁法について、伝統的漁法を伝承する際の基礎資料とするために、既存の調査結果を踏まえ、漁具や漁法を再現するとともに、試験の実施、データの蓄積を行い、試験結果をとりまとめる。													
業務項目と内容・方法 ※2	①【試験地事前整備】 これまで実証できていない漁具について、漁法検証試験の実施効率を上げるため、適地の選定、漁具の作製、周辺整備を実施するとともに、関係機関への協議資料等の作成を行う。 ②【実証試験】 これまで実証できていない漁具について、伝統的漁法現地調査・モニタリングを行う。 ③【食文化再現調査】 調査結果を基に、実際にアイヌ文化期の食事について再現（調理）を行う。 ④【調査結果取りまとめ】 調査結果をとりまとめる。実証できない漁具については、課題の抽出、調査の提案を行う。													
想定する成果 (状況/物品)	※○内の数字は上の欄に対応 ①→ 試験地絞り込みと周辺環境の点検・整備、諸手続書類と手引き（マニュアル） ②→ 漁具作製、その素材・作製技法・使用法・伴う儀礼等の調査記録の保存・分析（モニタリング）とマニュアル化 ③→ 食文化の再現（試食会開催、レシピ作成・公開） ④→ 報告文・図版 ★地域に根ざして育まれてきた「川の文化」の重要な構成要素である伝統漁法を再現し、今日的な条件の中で継承・活用していく基礎を固める。													
年間作業工程 (行程) 概要	◆調査計画検討	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①【試験地事前整備】	◆法規関係の手続き・調整												
	②【実証試験】	稀少水生生物等分布調査												
	③【食文化再現調査】													
	④【調査結果取りまとめ】	検討会などにおける報告												
作業工程 (行程)上の 留意事項	各担当チームごとにより詳細な作業計画・工程を作成し、進捗状況に応じて随時見直しを行いながら業務課題を遂行する。また、他分野担当チームとの連携・協力を努める。													
主/副担当	◎貝澤輝三 ○黒川賢司													
補佐・グループ	◇長野 環 チーム1 / 3-(2)													
備考 (今後の展開上の 留意点等)	アイヌ文化情報センターを基盤とした情報の受・発信と、各種の文化振興事業・活動及び町立博物館・歴史館等関係機関との連携・協力を努める。													

◇◆ H23年度、3-(2) 伝統的漁法についての調査計画 ◆◇

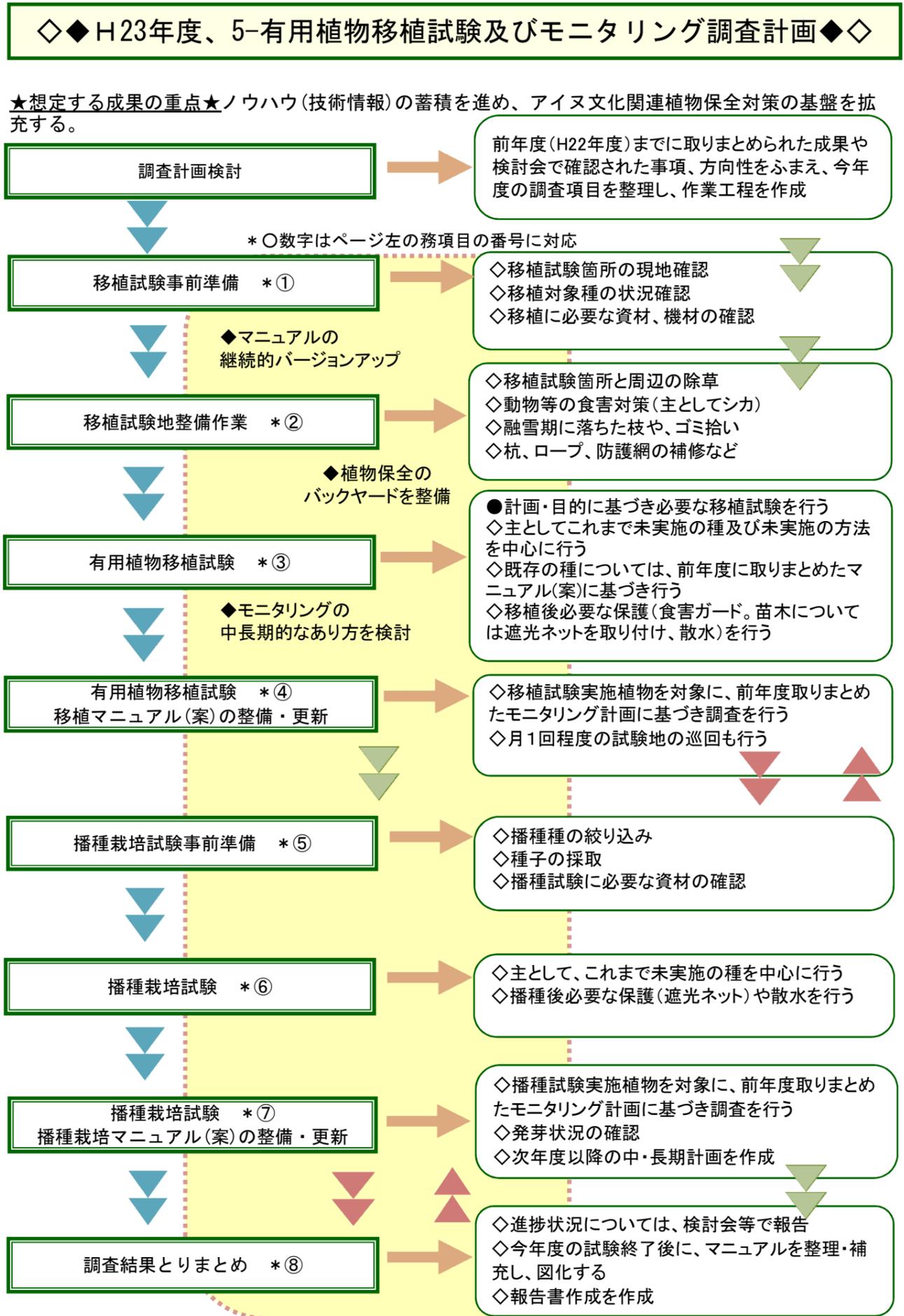
★想定する成果の重点★地域に根ざして育まれてきた「川の文化」の重要な構成要素である伝統漁法を再現し、今日的な条件の中で継承・活用していく基礎を固める。



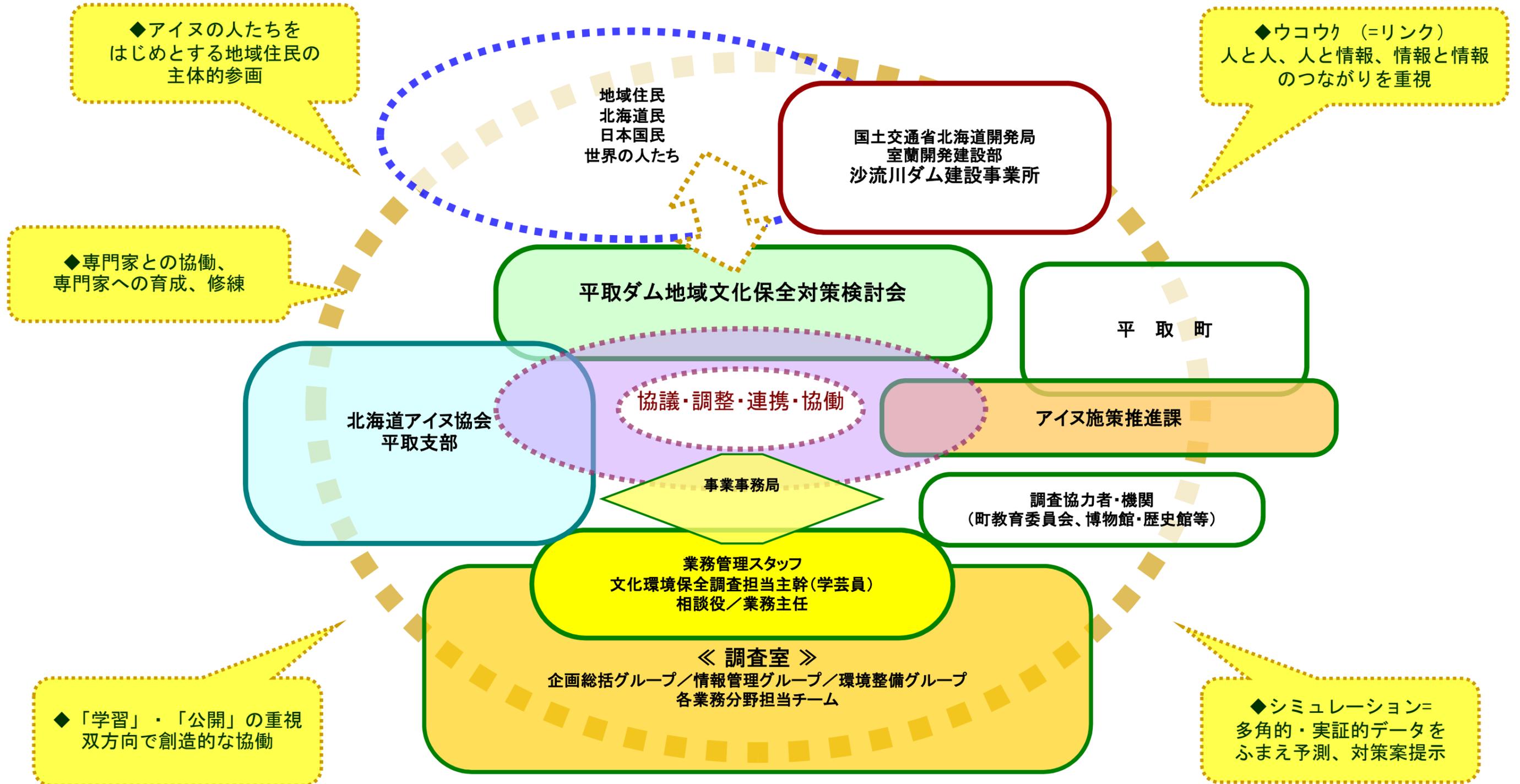
事業名	平成23年度 アイヌ文化保全対策調査												
業務分野	4 - 地域文化保全対策調査												
目的/課題 ※1	◆既存の調査結果を整理し、地域文化保全対策として継承できる方策として資料を作成する。また、資料を用いて関係機関・施設を対象に試行調査を実施し、収集した意見・感想等を踏まえた資料の修正及び調査結果のとりまとめを行う。												
業務項目と内容・方法 ※2	①【保全対策試行調査】 既往の調査結果を基に、保全対策実施に向けた試行調査を行う。 ②【意向調査】 試行調査実施後、調査協力者から意見・感想等を収集し整理する。 ③【地域文化保全対策プログラム作成】 既往の調査結果、特に各分野でとりまとめたデータベースを基に、地域文化保全対策方策として活用できるプログラム等を作成する。 ④【調査結果とりまとめ】 調査結果をとりまとめ、地域文化保全対策のための基礎資料を整理する。												
想定する成果 (状況/物品)	※○内の数字は上の欄に対応 ①→ 試行と結果分析（シミュレーション的試行をふくむ） ②→ 意見・感想等の集約と分析 ③→ プログラム・資料の作成 ④a→ 映像コンテンツ作成と活用例提示 ④b→ 報告文・図版 ★各分野における既往調査結果を整理、それらを活用する方策を検討し、プログラム化に取り組み、かつ可能なものについては実験的に試みる。												
年間作業工程 (行程) 概要	業務項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	◆調査計画検討	●	→										
	①【保全対策普及試行調査】	●	→										
	②【意向調査】			●	→	●	→	●	→	●	→		
	③【地域文化保全対策普及プログラム作成】	●	→										
	④a【視聴覚資料作成】	●	→										
	④b【調査結果とりまとめ】			●	→	●	→	●	→	●	→	●	→
作業工程 (行程)上の留意事項	各担当チームごとにより詳細な作業計画・工程を作成し、進捗状況に応じて随時見直しを行いながら業務課題を遂行する。また、他分野担当チームとの連携・協力を努める。												
主/副担当	◎平村祐樹		○村木直美										
補佐・グループ	◇木村真奈美 チーム3-(1)/4												
備考 (今後の展開上の留意点等)	アイヌ文化情報センターを基盤とした情報の受・発信と、各種の文化振興事業・活動及び町立博物館・歴史館等関係機関との連携・協力を努める。												



事業名	平成23年度 アイヌ文化保全対策調査												
業務分野	5－有用植物移植試験及びモニタリング調査												
目的／課題 ※1	◆これまでの調査結果・計画に基づき、有用植物の移植試験及び播種栽培試験を実施する。試験結果を踏まえ、有用植物の種ごとの移植マニュアル(案)・植物栽培マニュアル(案)の更新を行う。また、移植及び播種の状況(既に実施している有用植物含む)を確認するために、モニタリング調査及び試験地の整備作業を行うとともに、次年度以降のモニタリング計画(案)をとりまとめる。なお、試験実施する種については、調査職員と協議の上決定する。												
業務項目と内容・方法 ※2	①【移植試験事前準備】移植試験実施に必要な事前準備(現地確認等)を実施 ②【移植試験地整備作業】活着率を上げるため、移植箇所付近の除草、食害防止を実施 ③【移植試験(木本/草本)】 主としてこれまで実施されていない木本/草本を対象として、移植栽培試験を行う。 ④【移植マニュアル(案)の整備】移植試験を実施した植物について、移植栽培マニュアル(案)の更新を行う。 ⑤【播種栽培試験事前準備】播種栽培試験に必要な事前準備を行う。 ⑥【播種栽培試験】木本/草本の播種栽培試験を行う。 ⑦【播種栽培マニュアル(案)の整備】 播種栽培試験を実施した植物について、播種栽培マニュアル(案)の更新を行う。 ⑧【試験結果とりまとめ】 移植試験実施植物を対象としたモニタリングとモニタリング計画(案)をとりまとめる。												
想定する成果 (状況/物品)	※○内の数字は上の欄に対応 ①→ 移植試験地絞り込み周辺環境の点検・整備 ②→ 移植試験地の点検・整備 ③→ 移植試験(未実施種中心)過程記録 ④→ 移植試験結果分析、マニュアルの改訂(version up) ⑤→ 播種試験地絞り込み周辺環境の点検・整備 ⑥→ 播種試験(未実施種中心)過程記録 ⑦→ 播種試験結果分析、マニュアルの改訂(version up) ⑧→ 報告文・図版 ★ノウハウ(技術情報)の蓄積を進め、アイヌ文化関連植物保全対策の基盤を拡充する。												
年間作業工程 (行程)概要	業務項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	◆調査計画検討	●	→										
	①【移植試験事前準備】	●	→										
	②【移植試験地整備作業】	●	→										
	③【移植試験(木本/草本)】	●	→										
	④【移植試験モニタリング】	●	→										
	⑤【播種試験事前準備】	●	→										
	⑥【播種試験(木本/草本)】	●	→										
	⑦【播種試験モニタリング】	●	→										
	⑧【調査結果とりまとめ】			●	→								
	検討会または勉強会			○		○		○		○		○	
作業工程 (行程)上の留意事項	各担当チームごとにより詳細な作業計画・工程を作成し、進捗状況に応じて随時見直しを行いながら業務課題を遂行する。また、他分野担当チームとの連携・協力を努める。												
主/副担当	◎貝澤朱美 ○井澤美恵子												
補佐・グループ	◇川島五月 チーム2/5												
備考 (今後の展開上の留意点等)	アイヌ文化情報センターを基盤とした情報の受・発信と、各種の文化振興事業・活動及び町立博物館・歴史館等関係機関との連携・協力を努める。												



■ アイヌ文化環境保全対策事業の体制概念図 (平成23年度)



※ 今年度の調査室年間テーマ =【 深める、高める、広める、そしてカタチにする 】